



きいてみたい！「歯」について☆



噛み合わせが気になります…

お子さんに多いと言われている「不正咬合」とは歯並びと上下の歯の噛み合わせに異常があることを言います。「出っ歯」や「すきっ歯」も、症状のひとつです。乳歯の虫歯を放置したり、抜歯後、そのままにしていると、永久歯が並びだけの十分なスペースが確保できません。また、乳児期からの指しゃぶり（2歳頃までは異常とはいいません）唇や衣類を咬む、話す時に舌を突き出す等…が原因となることもあるので、やめるように促すことも必要です。矯正のメリットとして「健全な顎の成長を促す。」「永久歯が生えるスペースができる」ので、将来的に抜歯が必要になるリスクが減ります。生え方が観察していて気になるようでしたら小児歯科受診をお考えになってみてはいかがでしょうか。

矯正治療を考えているのですが費用はどのくらいかかるか知りたいです。

小さなお子さんを育てていると歯並びが気になる時があります。月齢や年齢に応じて保健所で健診を受けられていると思いますが、3歳児健診の中で、歯科医師による歯科検診があります。反対咬合や歯の生え方について言われたら「小児歯科」を受診してみましょう。参考となる費用をみてみましょう。（右の表をご覧ください。）



費用の目安	
処置	費用の目安 (税別)
検査・診断料	1万5000～ 5万5000円
一期治療	10万～ 50万
二期治療	20万～ 120万
調整料 (処置料)	2000～ 7000円
観察料	2000～ 5000円

※上記の費用についてはあくまでも目安です。

どんな歯ブラシがいいのでしょうか？

	仕上げみがき	自分みがき		
目標の習慣	0歳～	0～2歳	3～5歳	6～12歳
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 奥まで届きやすい 大人が握りやすい 歯ぐきにやさしい 	<ul style="list-style-type: none"> 安全性 歯ぐきにやさしい 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃性 安全性 	<ul style="list-style-type: none"> 奥歯への到達性 清掃性 操作性
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 子供がみがけていないところを保護者がみがく 	<ul style="list-style-type: none"> ハブラシを口の中に入れることに慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でハブラシを動かして使い慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> みがき残しの多い奥歯までしっかりみがける
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 歯ぐきにやさしい毛 小さいヘッド 細くて長いハンドル 	<ul style="list-style-type: none"> 口触りの良い毛 曲がる安全なハンドル 	<ul style="list-style-type: none"> 清掃性の良い毛 曲がる安全なハンドル 	<ul style="list-style-type: none"> 凸凹な歯並びに適した小さ目のヘッド 第一大臼歯などの奥歯まで届きやすい長さ



歯みがきをいやがってしまうので、こまっています。



「健康な歯を育てていきたい…、虫歯を防ぎたい…」しかし、「歯みがきタイム」を嫌がってしまうお子さんもいます。歯みがきの習慣で知っておきたい大切なポイントは「時間・回数・タイミング」があります。

時間・・・最低でも3分が目安ですが、嫌がっているときは、まず、時間は短くても慣れさせることを優先にしましょう。

回数・・・回数よりも、時間をかけて丁寧に磨くほうが虫歯予防には良いと言われています。

タイミング・・・「毎食後」が理想です。特に重要なのが寝る前の歯みがきです。

歯みがきを親子のスキンシップの時間として習慣づけられると良いですね♪